

各 位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2018年 6月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店※1	104.1
阪神本店	113.5
支店計	97.8
全社計	103.0

※1 阪急うめだ本店 103.3%、阪急メンズ大阪 110.1%

既存店計※2	105.8
--------	-------

※2 堺 北花田阪急を除く既存店対比

○ 全店の概況 ※既存店ベースの売上高が19ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・大阪北部地震の影響により、関西各店は、地震当日の休業(6店舗)以後1週間は消費マインドの低下の影響(全店の1ヶ月間の売上高を約4%押し下げ)を受けたものの、阪神本店、博多阪急、阪急メンズ東京の好調な売上が寄与し、既存店ベースで105.8%を確保。しかしながら、月末より一気に回復基調に転じた。
- ・1日に開業した阪神梅田本店建て替え第I期棟は、既存顧客に加え、狙い通り30~40代女性客が増えるなど、新規顧客獲得が進み、売場面積が2割減少したにもかかわらず、食品を中心に全館で連日賑わいを見せている。3年ぶりに復活したスナックパークや、話題のパンワールド、リカーワールド、関西初登場のハンバーガーレストランなどが集客に寄与し、計画比約3割増となった。

○ 阪急本店の概況 ※売上高が19ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・地震の影響で、当日は休業。その後1週間程度は消費マインドの低下の影響を受けた。
- ・昨年よりも雨天の日が多く、夏物商材が苦戦するも化粧品(113%)やラグジュアリー(116%)が好調な婦人ファッション(110%)が売上を牽引。
- ・高額品(100万円以上)は、前年の大口需要の実績が大きく、前年には届かないものの、100万円以下のジュエリーや時計の動きがいい。
- ・インバウンド(約4割増)は、化粧品のピーターが増え続けている消耗品(138%)、高額なジュエリーや時計に加え、ファッションアイテムも好調な一般品(139%)とともに高伸。
- ・阪急メンズ大阪は、AWコレクションに対する反応がよく、海外ブランドが好調。アイテム的にはカジュアルな軽衣料の動きがいい。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2017年度										2018年度		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
阪急本店	108.3	108.0	110.0	114.4	110.1	112.6	106.5	107.3	108.4	109.6	110.8	107.8	104.1
阪神本店	96.2	95.7	99.8	106.1	100.2	100.6	100.4	98.5	98.5	99.4	106.8	83.4	113.5
支店計	104.0	103.4	94.9	97.3	95.3	100.5	98.4	96.1	97.7	100.3	98.5	93.3	97.8
全社計	105.1	104.7	103.1	107.4	103.6	106.9	103.0	102.1	103.4	105.1	106.0	99.5	103.0

既存店計			105.4	109.4	105.5	108.8	104.9	104.3	105.3	107.0	108.0	102.3	105.8
------	--	--	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

速報値

■ 食品事業

イズミヤ	売上高前年比(%)
全社計	93.4

阪急オアシス	売上高前年比(%)
全社計	97.6

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問合せ先>
 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 広報室 TEL:06-6367-3181